



お子さんと一緒に障害のある子どもたちのことや、周りの色々な友だちのことを考えるきっかけにこのリーフレットを使っていただければ幸いです。

何らかの原因で、記憶したり、理解したりすることが苦手だったり、人とのコミュニケーションや、気持ちを整理することが難しいなど、学び方や感じ方が違う子どもたちがいます。困っていること、難しいと思っていることや、成長の仕方もひとりひとり違っています。

子どもたちは、周りの人たちからのちょっとした言葉づかいや行動によって救われたり傷ついたりします。世の中には色々な人がいて、ひとりひとりが大切な存在です。

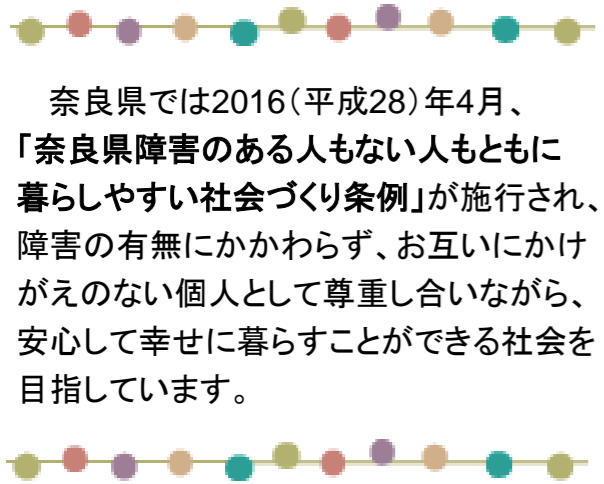
『この子らを世の光に』という言葉をご存じですか？

これは、昭和21年 滋賀県に近江学園という障害者施設を設立し、“知的障害者福祉の父”と呼ばれた糸賀一雄さん(1914～1968)の言葉です。

私たちのねがいは、重症な障害をもったこの子たちも立派な生産者であるということ認めあえる社会をつくろうということです。『この子らに世の光を』あててやろうというあわれみの政策を求めているのではなく、この子らが自ら輝く素材そのものであるから、いよいよみがきをかけて輝かそうというのです。『この子らを世の光に』です。

(糸賀一雄 著作集Ⅲ より一部を引用)

私たちは、この子らが光りかがやくことができる世の中になってほしいと願っています。それは、お互いが認め合い、全ての人が光りかがやく世の中です。自分らしく力を発揮し、よりよく生きていける社会にしていくことが大切だと考えています。



奈良県では2016(平成28)年4月、「奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例」が施行され、障害の有無にかかわらず、お互いにかげがえのない個人として尊重し合いながら、安心して幸せに暮らすことができる社会を目指しています。

- 監 中野 善久
(奈良県教育委員会事務局学校教育課参事)
 - 中井 和代
(奈良県立教育研究所・特別支援教育部長)
 - 水野 長志郎
(奈良県特別支援学校長会会長)
 - 山本 敏久
(奈良県特別支援学級及び通級指導教室設置学校長協会会長)
 - 鳥山 晃子
(奈良県特別支援教育研究会会長)
 - 修 奈良県健康福祉部障害福祉課
一般社団法人 奈良県手をつなぐ育成会
- ※監修者の役職名は監修時のものです。

一般社団法人 奈良県手をつなぐ育成会

1963年、知的障害のあるわが子の幸せを願い、教育・福祉・就労などの環境の整備、充実を求めて、関係者や多くの皆さんに呼びかけて親の会として発足し活動を続けています。

問合せ・連絡先 〒634-0061 橿原市大久保町320-11 (奈良県社会福祉総合センター内)

TEL:0744-29-0150 FAX:0744-29-0151 HP:<http://ikuseikai.sakura.ne.jp/wp/>

「一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会」で検索または右のQRコードから



一般社団法人 奈良県手をつなぐ育成会